



会津大学大学院コンピュータ理工学研究科 データサイエンス活用クラスター（ARC-DSE）

2022年5月に設立した、データサイエンスを軸とした産学官協業と、データサイエンス活用のための大学教育の充実を推進するクラスターです。

メンバー



橋本 康弘（リーダー）
上級准教授
全体統括、研究全般



大藤 建太（サブリーダー）
准教授
研究全般



畠 圭佑
准教授
産学窓口、研究全般

体制・専門領域

会津大学産学イノベーションセンター（UBIC）と連携し、プロジェクトの実現可能性の検討も含め、産学官協業の取り組みの窓口として活動しています。統計モデルや確率過程、ネットワークモデルなどの数理モデルや、自然言語処理、機械学習、情報可視化など、データサイエンスを構成する幅広い手法を用いて、ソーシャルメディアや位置情報データ、消費者行動データなどの分析に取り組んでいます。実世界サービスが抱える明示的・非明示的な課題に対して、協業パートナーと大学がWin-Winの関係を得られるゴールと体制を模索しながら、大学知を社会に還元していくことが大きな挑戦です。

過去の取り組みの事例

- 会津若松市の食育・健康促進のためのデータ分析と可視化（Fig. 1）
- コロナ禍前後の会津若松市内の人流変化の分析（Fig. 2）
- 会津大学内対象カーシェアリングサービスを用いた利用分析・運転動作分析（Fig. 3）
- 食品量販店におけるPOSデータを用いた消費者の来店パターン分析

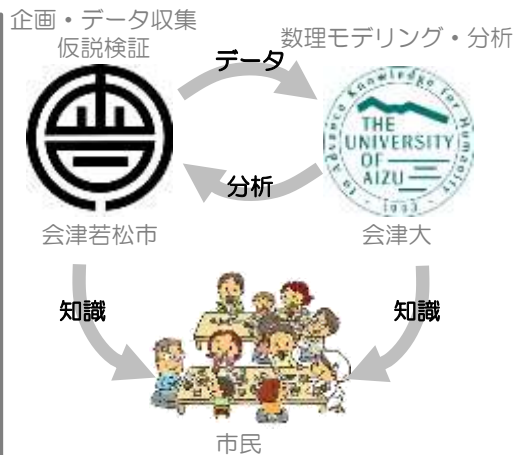
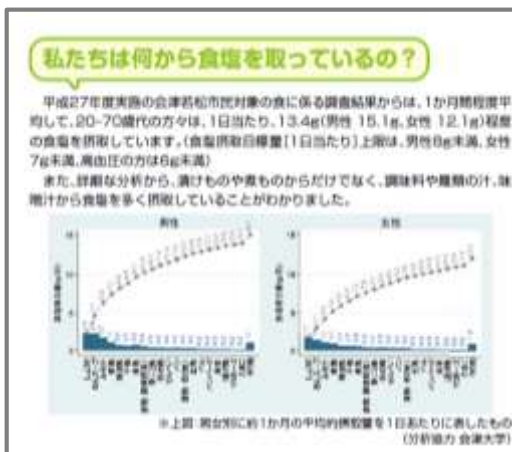


Fig. 1: 会津若松市の健康促進広報用ピラへの掲載（左）とプロジェクトの体制（右）

Fig. 2: 人流増（赤）と人流減（青）のエリア

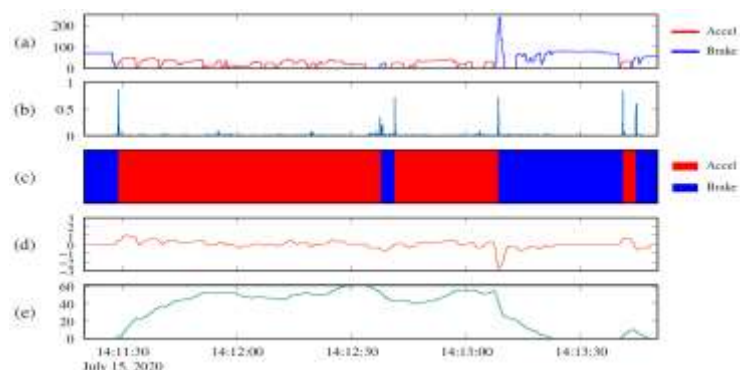


Fig. 3: 会津若松市内におけるシェアカーの利用軌跡の可視化（左）と道路環境ごとの運転操作（アクセル+ブレーキ）の分析